

一次開発システムの業務概要に関するパブリックコメント募集と 今後のスケジュールについて

2018年9月19日

容量市場の在り方等に関する検討会事務局※

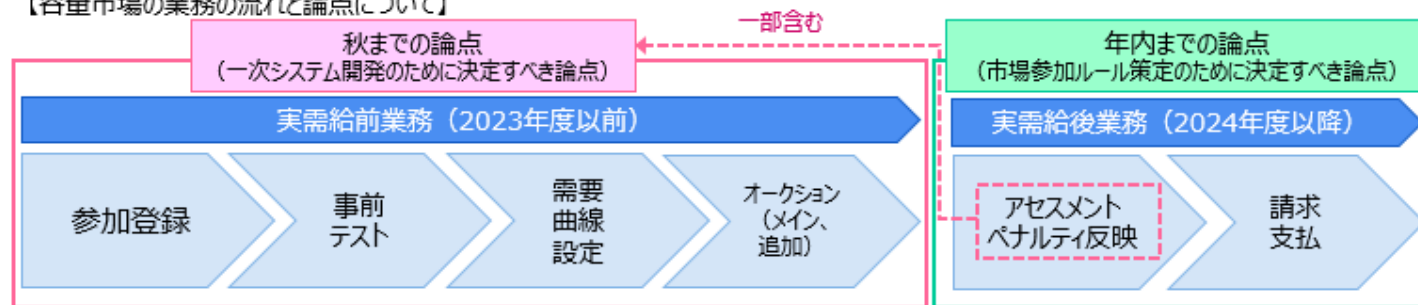
- 第11回検討会にて、一次システム開発のために決定すべき論点につき優先的に議論し、秋までの取り纏めを目指すこととし、これまで検討を進めてきた。

2.検討項目について①

2

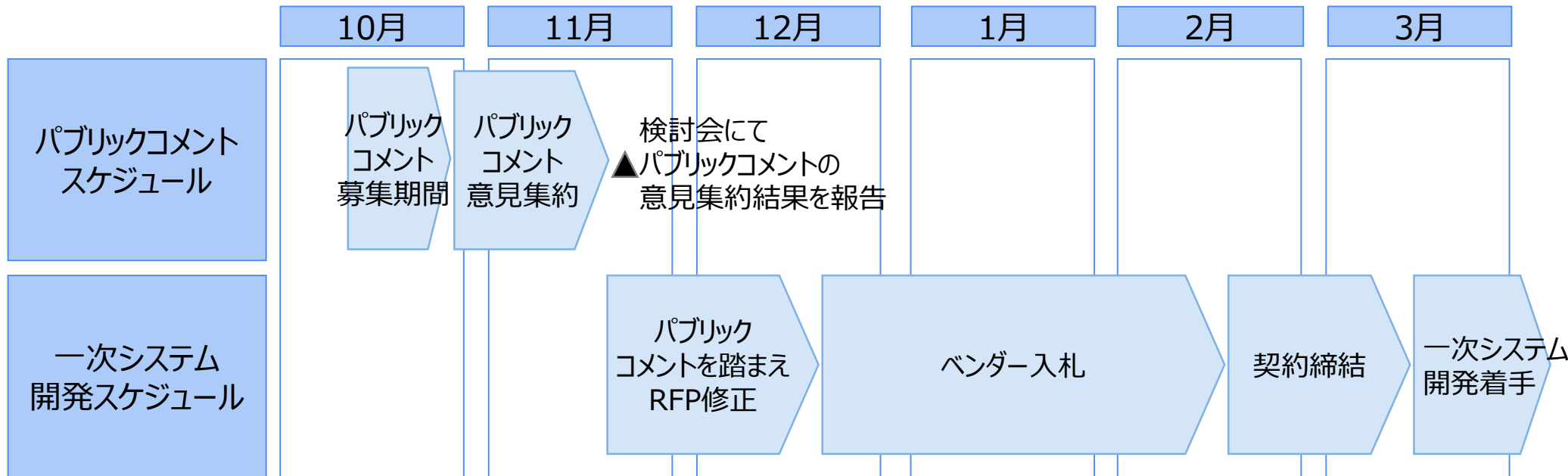
- 前回の検討会にて、容量市場開設当初から必要となる業務を実需給前業務と整理した。このため、初回オークションを実施するために必要な一次システム開発のために決定すべき論点は、実需給前業務の内容のすべてが含まれると整理出来る。
- また、電源等がどのように区分され、どのような観点でアセスメントされ、ペナルティ反映されるか、といった判定を行うための管理項目等については、最終的なシステムの作り方、規模等に大きな影響を与えるため、当面のシステム実装内容の検討時から整理しておく必要があることを踏まえて、実需給後業務の一部分も、一次システム開発のために決定すべき論点と整理した。
- なお、例えば調達目標量や需要曲線の指標価格等の考え方等は、一次システム開発の観点から決定する必要があるが、具体的な水準等については引き続き議論する予定である。ただし、本資料では、考え方を整理する観点から、一旦市場参加ルール策定のために決定すべき論点に含めて位置づけた。
- **まず、一次システム開発のために決定すべき論点につき優先的に議論し、秋までの取り纏めを目指すこととする。**その後、市場参加ルール策定のために決定すべき論点につき議論し、年内を目途に取り纏めることとする。

【容量市場の業務の流れと論点について】



2.パブリックコメント募集と一次システム開発までのスケジュール

- これまでの検討会での議論を踏まえ、一次システム開発の対象である実需給前の業務概要を整理中である。当該業務概要は、一次システム開発の業務要件定義の重要な前提となり、システム開発着手後に大きな変更が必要となった場合は、容量市場の開設に多大な影響をもたらす可能性がある。
- したがって、一次システム開発のベンダー入札を行う前に、本日までの議論内容を反映した業務概要に関して容量市場の関係者から広くご意見を頂くためにパブリックコメントを募集したい。なお、パブリックコメント募集～一次システム開発までの具体的なスケジュールは、以下のとおり。



- パブリックコメント募集にあたっては、様々な方からご意見を伺うために、本編の業務概要以外に、これまでの容量市場の検討事項を踏まえた容量市場の概要を添付した2部構成とする。

第1部：容量市場の概要

第2部：容量市場に関する実需給前の業務概要

- なお、第1部については、ご意見を頂く際の参考資料であるため、意見募集の対象としない。

- 第2部の業務概要は、以下の広域機関の業務内容を整理したものの概要について、市場参加者との関係性をイメージできる資料にてお示しすることとしたい。

